

KYOTAMBA TOWN

京丹波

議会だより

第78号

[令和5年2月17日]

発行 京都府京丹波町議会

表紙写真

「きいろいばけつ」のおはなし会
(中央公民館 木育ひろば)

令和4年

12月定例会

- 2P 補正予算、条例の改正など
ふるさと納税を7000万円追加
- 4P 一般質問に11議員
消防団員報酬の処遇改善など
- 15P 閉会中の委員会報告
「グループホーム一歩」の視察など
- 16P 臨時会 価格高騰緊急支援を実施
- 17P 議会報告会 町自主放送番組放映で実施
- 17P 追跡調査 瑞穂支所の移転時期は
- 18P 人(ひと) 今津タカさん・亀田久美さん(井尻区)



京丹波町

議会ホームページアクセス件数
1,042,676件(R5.2.1現在)前号より1,195件増



ふるさと納税を7000万円追加し 2億2200万円に

◆一般会計の主な補正

| | |
|---|----------|
| ふるさと応援寄附金事業 (うち ふるさと応援寄附金積立金に7000万円) | 1億1112万円 |
| 庁舎管理事業 | 361万円 |
| 京都府議会議員選挙執行事業 | 518万円 |
| ウッディパルわち管理事業(管理棟改修工事) | 175万円 |
| 京都中部広域消防組合負担金 | 1399万円 |

◆国保京丹波町病院事業会計の主な補正

| | |
|---------------|-------|
| 医師住宅建設実施設計委託料 | 254万円 |
|---------------|-------|

令和4年12月定例会は、12月2日から16日まで開催されました。本定例会には、人事案件、条例の改正、補正予算など16件が提出され、全議案を同意・可決しました。
11議員が一般質問に立ち、42項目について執行部の所見をたどりました。なお、本定例会には、延べ17人の傍聴がありました。

令和4年度補正予算

一般会計ほか4会計の補正予算を可決しました。

主な質疑・討論

一般会計補正予算①

事業の精査にもとづいた必要な補正で、予算総額に1億5608万円を追加し、119億6625万6千円とするもの。〔全員賛成〕
問 庁舎のさらなる節電対策に取り組むべきでは。

課長 防災会議室の昼間の消灯をはじめ、今後も節電に取り組む。

問 子育て支援センターの電気工事の内容は。

課長 電気低圧受電化工事を行う。

問 ふるさと納税のプロモーションに取り組む考えは。

課長 今年度からインターネットによる広告の対策を始めており、さらに推進していく。

賛成討論 隅山 卓夫議員
ふるさと応援寄附金

事業は、昨年実績1.7倍に急増している。

自主財源確保のため、一層の推進を求め賛成。

賛成討論 山崎 裕二議員
令和元年度比で、10倍超となる2億2200万円を見込むふるさと応援寄附金の着実な伸びを評価し賛成。



医師住宅(単身者用)(和田地内)

主な条例の 制定・改正

職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

人事院勧告に準じ、給料表及び勤勉手当の支給月数を改正するもの。
〔全員賛成〕

特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

人事院勧告による一般職の給与改定に準じ、期末手当の支給月数を改正するもの。
〔全員賛成〕

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の整理を行うもの。
〔全員賛成〕

わち緑の交流空間施設の設置及び管理に関する条例の制定

隣接施設との一体的な管理運営体制の充実、類似施設との比較による使用料の改定など、現行条例の全部を改正するもの。〔全員賛成〕

問 使用料値上げの理由が、類似施設との比較であるが、利用料以外の比較は。

〔支所長〕 使用料が安いとの意見を聞いており、

〔支所長〕 使用料が安い

使用料の比較のみ行っている。

問 今回の改正で、使用時間に変更は。

〔支所長〕 宿泊は午後2時から翌日の午前10時まで、休憩は午前9時から午後5時までの1時間単位としている。

一般会計補正予算②

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てのできる環境を整

備を早期に図る経費として、408万3千円を追加するもの。

〔全員賛成〕

問 出産応援交付金事業の地方負担分の来年度以降の見直しは。

〔課長〕 来年度も地方交付税による措置で対応されるものと考えている。

賛成討論 森田 幸子議員

全妊婦を対象とする寄り添う相談体制と経済的支援の実施により、0～2歳児の支援充実が図られると確信する。

請願の取り下げ

令和4年6月定例会において総務産建常任委員会に付託し、継続審査となっていた「町道認定に関する請願書」

に関し、町へ提出された同内容の要望書に対する回答があったため、蒲生自治会長から取り下げの申し出があり、許可しました。

議員報酬条例の改正

人事院勧告による一般職の給与改定に準じ、期末手当の支給月数を改正するもの。
〔全員賛成〕

意見書

シルバー人材センターに対するインボイス制度の適用除外を求める意見書（要旨）
提出者 教育福祉常任委員会委員長

シルバー人材センターの会員にインボイス制度をそのまま適用することは、地域社会の活力低下をもたらすものと危惧する。

また、シルバー人材センターとしても、新たな税負担の対応に苦慮することは明らかであることから、次の事項を強く要望する。
①消費税の特例措置として、シルバー人材センターに対するイ

ンボイス制度の適用を除外すること。

②シルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となるよう、国の責任において、必要な支援を継続的に行っていくこと。
〔全員賛成〕

賛成討論 梶中 清司議員

地域社会の活力低下、運営上の死活問題であり、国の責任で必要な支援を行うことを要望する意見書を評価。

賛成討論 山田 均議員

インボイス制度の適用を受ける全業種の声を踏まえた意見書を提出するのが議会の役割であるが、賛成する。

人事（敬称略）

教育委員会委員

山根 里香（新任）

固定資産評価審査

委員会委員

一谷 寛（新任）



ウッディパルわち(下粟野地内)



一般質問 **ここが聞きたい**

消防団員 年額報酬の1万7000円から 標準額3万6500円への引き上げを



山崎 裕二 議員

町長 答申内容をふまえ必要となる条例改正を提案したい



全国消防操法大会(千葉県市原市)

たい。

きたい。

消防団員等への
出勤報酬の創設を

空き家・空き地の
適正管理を

問 消防庁は消防団の充実強化に向けて、団員の年額報酬等の処遇改善を掲げており、本年度から、地方財政措置を大幅に拡充した。その概要は。

を改正し、団員の年額報酬の引き上げを。
町長 審議会からの答申をふまえ、団員の年額報酬額改定の有無、時期を決定し、必要な条例改正を提案する。

その概要は。

必要のない理由は。

課長 標準額支払団員1人当たり約5万8千円となる算式にもとづく密度補正係数が新設された。

問 業務の負荷や職責などを勘案し、団員より上位階級の役職についても、年額報酬の引き上げを。

課長 年間出勤実績は平均3、4回であり、1回あたり1千円の費用弁償で計算してきた。

課長 老朽化に伴う部材の崩落や小動物の害、草木繁茂による隣地への侵入、廃棄物の不法投棄などが考えられる。

問 審議会答申や消防団へのヒアリングなどをふまえた上で、条例

部長 あわせて、答申をいただく予定であり、内容をふまえ、決定し

問 特別交付税による出勤報酬措置が新たに創設される目的は。

問 放置防止に向け、町外への固定資産税納税通知書などの発送時に、啓発文書や除草などの環境整備委託先をまとめた案内チラシなどを同封しては。

をふまえた上で、条例

内容をふまえ、決定し

からと認識している。

課長 時期・箇所は限定的であり、個別対応によって解決していく。

をふまえた上で、条例

内容をふまえ、決定し

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例

をふまえた上で、条例



西山 芳明 議員

京都環境保全公社の関連企業に 町振興の協力を求めています

町長 企業版ふるさと納税など協力・支援を求めていく



第3期保全計画埋立地工事にかかる
地元説明会(猪鼻地内)

問 瑞穂環境保全センターを運営する京都環境保全公社の株主でもある京都経済4団体には、京都を代表する企業が加盟しており、そうした企業にも町の振興に対する協力要請を行う考えは。

町長 世界的な経済活動を行っている企業が多くあり、その下支えをしているのが当産業廃棄物処理場である。京都工業会の正副会長

の現地視察や懇談を通じて、企業版ふるさと納税やイベント協賛など協力・支援を依頼した。

課長 工事は令和7年度完成予定で、同年から令和30年度まで埋立の見込みである。埋立面積は4万400㎡、埋立容量は77万㎡となる計画である。

昨年10月に工事用道路が完成し、雨水調整池の設置工事が進められている。今後、造成工事に伴う土砂搬出、遮水シートの設置、排水処理施設の更新が順次行われる。

※京都経済4団体とは
京都商工会議所、京都経営者協会、京都経済同友会、京都工業会のこと。

どこでも図書館構想の実現化

問 本庁舎内の図書コーナーと町内6図書室の利用状況および貸出冊数の推移は。

教育長 1カ月平均利用者は前年比の2倍を超えている。特に、本庁舎内の図書コーナーの貸出冊数は、6図書室合計数と同程度かそれ以上となっている。

問 町内図書室の快適な利用環境向上のため、特に工夫されたことは。

教育長 和知ふれあいセンター図書室では、

広い空間を確保し、列車を望みながら読書ができるようにした。

中央公民館では、廊下を含む空間を活用して新たに閲覧スペースを確保し、くつろいで読書できる図書室づくりに努めている。

瑞穂の4図書室では、開室日に移動図書館車で時期やニーズに合わせた本を届けている。

問 図書室に比べ、図書館ではどのようなメリットがあるか。

教育長 複写サービスが提供できることや、国立国会図書館からの相互貸借が得られることなどがある。

問 今後、本庁舎内図書コーナーの盗難などリスクへの対策は。

教育長 他図書館からの借用図書は、閉室時には別途保管している。今後、町所蔵図書などについても盗難、紛失リスクに対して改めて検討していく。



JRバスとの連携・協働による 維持改善の取り組みを



隅山 卓夫 議員

町長 持続可能な運営に向け衆知を集めて取り組む必要がある



西日本ジェイアールバス(株) 京丹波営業所(桧山地内)

問 JRバス(園福線)は、昨年4月のダイヤ改正により減便となった。突然の発表に住民は動揺している。

地域公共交通会議の果たす役割は。

部長 地域公共交通会議は、最適かつ持続可能な地域の公共交通の確保に向け、町内の交通空白地有償運送の運営について協議するものである。将来を見据えて検討を進める必要

があり、基幹交通である園福線とその沿線市町の連携も含め、地域公共交通の維持を検討する必要がある。

問 持続可能な地域公共交通を確保するには、仕掛けや利用を喚起・誘発し、利用者を増加させる取り組みが重要である。住民にJRバスの必要性や路線維持の困難性を伝え、地域公共交通を支える意識の醸成が必要である。

JRバスと行政、住民の連携・協働による維持改善の取り組みが求められるのでは。

町長 路線バスの必要性の意識は高いが利用者が少なく、本当に苦慮している。長い歴史のある園福線は、沿線住民のみならず慣れ親しんできた唯一の公共交通機関である。行政で対応できる限り利便性の向上に向けた改善を図るとともに、利用の喚起・誘発を行い、持続可能な運営ができるよう、衆知を集めて取り組んでいく必要がある。

須知高等学校の 教育環境の充実を

問 「食の郷●京丹波」を進める上で、須知高校食食品科学科との連携は欠かすことができない。地元貢献を下支えする有益な教育実態をどのように評価するか。

町長 農業と林業が基

幹産業の町であり、本町の今後の発展は、この二つを産業として活性化させていくことが大変重要である。食のまち、フードバレー構想を今後策定し、農業の振興や6次産業化、食観光、プロモーション、創業などへの支援や企業との連携を進めていく。

須知高校では本町の食材を活用した加工品などが開発されており、フードバレー構想の中でも、同校に対して大きな期待をしている。

問 須知高校存続には、生徒数の確保が必要である。専門学科の増設や、特徴ある教育実践には学生寮の整備が必要では。

副町長 須知高校の生徒確保に向け、広域的な募集を想定した学科などを創設するにあたって、学生寮の設置も必要となる場合もあると考えている。



山崎 眞宏 議員

小・中学校入学時の 祝い金制度の創設を

町長 祝い金制度を新たに検討したい

問 昨年も提案したが、子育て支援の一環として、小学校、中学校入学時の祝い金制度を設けては。

町長 本町で子育てをしたい、本町にずっと住み続けたいという方に、長期にわたる子育て支援ができるよう、地域ぐるみで子どもたちを育てていく。つまり、子育ては地域が一緒になって、成長段階に応じた支援を行うことが必要と思っている。来年度から現在の事業を見直すとともに、新たな支援策として、小・中学校の入学時の祝い金制度を新たに検討していく。

こども園での
オムツ処理実施を

問 認定こども園での使用済みオムツを各園で処分する考えは。

町長 保育教諭と保護者が、大切な子どもたちの健やかな成長のため

めに、ともに理解し助け合いながら子育てをするという理念の中で、オムツ処分の方法についても相互理解しながら保護者が持ち帰ることとしていたと考えている。この理念は非常に大事なことだと思っている。

しかし、近年、全国各地で処理の方法が問題になっている使用済みオムツは、園での処分が潮流となりつつあり、このことは無視することはできない。

本町においても、新たな子育て支援策のひとつとして、保護者の負担軽減を考慮したこども園での使用済みオムツの処分をこれまでも検討してきており、来年度予算に必要となる経費を計上する方向で考えている。

イベントの開催で
町の魅力発信を

問 本庁舎をもっと全

面に活用して、町内で活躍されているみなさんのために、庁舎駐車場を使ったマルシェなどのイベントを実施する考えは。

町長 本庁舎の立地や形状、景観イメージ、訴求力を考慮したとき、この場所を活用したマルシェなどのイベントの開催は、町民のみなさんの活力や町の誇りなどの醸成に非常に効果的である。多角的な

プロモーション戦略の観点から、現在、検討しているところである。

町営バス停留所の
設置場所の検討を

問 上豊田長生会の方から、区内のバス停留所の設置場所が上りと下りで離れており、不便であるとの声を聞く。追加設置の検討を。

町長 住民要望により設置した経過があり、理解いただきたい。



庁舎・駐車場



フリースクールの現状把握に 取り組むべきでは



畠中 清司 議員

教育長 児童生徒の状況に応じた支援につながる取り組みを行う

問 町内・府内でフリースクールの運営を行っている個人、NPOなどの箇所数は。

教育長 町内に2カ所、府内の認定施設は6カ所ある。

問 本町ではフリースクールへの登校が学校の出席扱いになるのか。

教育長 一定の要件を満たすことにより、指導要録上、学校の出席扱いとなる。

問 居場所として機能するタイプ、学校復帰を希望するタイプ、両タイプにかかる考えは。

教育長 学校への復帰のみが目的でなく、広く社会的自立を目指した支援である。居場所として安心して過ごせることや、児童生徒の状況に応じて幅広い支援がなされている。

問 フリースクールから高卒資格を目指すケースで、府内での令和元年度以降の人数は。

教育長 制度上、受験

する生徒の在籍校を経て必要な手続きをするため、把握できていないが、一定数あると承知している。

問 フリースクールについて、本町が行っている支援は。また、今後の支援策は。

教育長 不登校支援相談チームを設置したり、連携型適応支援を試行的に実施している。本町の実情に即した支援事業を今後構築する。

問 「移動図書館」の曜日・時間帯を決め、地域へ出張しては。また、どこでも図書館構想の実現に向けた、来年度の新たな取り組みは。

教育長 利用のニーズを確認し、移動図書館車訪問についても調査研究を行い、来年度には他の地域にも訪問できるようにしたい。

問 雑誌スポンサー制度のこれまでの周知方法と、現在の状況は。

課長 町ホームページへの掲載や各図書室での制度周知のチラシを配架している。職員が個別に声かけを行い、現在は2者のスポンサー登録がある。

地域包括ケアシステムの原点は

問 住民参加型のサービスの役割や意義は。

町長 地域における福祉意識の向上や住民互助力の醸成、支え合いの地域づくりの推進といった役割がある。

問 地域で暮らす住民が、地域のさまざまな問題や課題を自身のこととして捉え、取り組むことが必要では。

町長 町も状況に応じ、取り組みを支援する。

問 交通空白地有償運送に取り組む考えは。

副町長 研究を進めている段階である。



移動図書館車

図書館構想の
新たな取り組みは



居谷 知範 議員

AIやICT技術を活用した デマンド型交通システムの導入を

副町長 有効な手段であり研究を進める

問 先の議会において、交通施策を根本的・抜本的に見直すべきとの質問に対し、関係部署で横断的な議論を行うとの答弁であったが、具体的な取り組み状況は。

副町長 各部長、企画情報課、財政課、福祉支援課、商工観光課、学校教育課、各支所の担当者をメンバーとする交通施策検討委員会を発足させた。ニーズの分析を行い、実証実験につなげていく。

問 既存の町営バスの役割と、将来的な位置づけおよび方向性は。

課長 必要不可欠なものであるが、現状の運行ではバス停までの移動が困難な方への対応ができないため、他の施策による取り組みが必要である。

問 AIやICT技術を活用したデマンド型交通システムを、本町の実情にあった形で導

入し、さらに地域住民に寄り添った交通手段の確保を図るべきでは。

副町長 デマンド型交通も検討委員会で議論しており、課題を解決する有効な手段であると理解している。効果的な運用をさらに研究し、活用する方向で研究を進めたい。

問 新たな施策を行うにあたり、地域と期間を区切った実証実験を行うべきでは。

副町長 関係機関などと協議をしながら、令和5年度から具体的な取り組みを進めたい。

中学校のクラブ活動の地域移行は

問 クラブ活動の休日の活動について、地域移行が提言されている。本町の取り組み状況は。

教育長 モデル地域の指定を受け、少子化が比較的に進行する地域での調査研究を進めている。持続可能な地域

移行の基盤づくりに向け、さまざまな事例を参考に検討を進めている。

須知高校の府立大学附属高校化の推進を

問 府立高校在り方ビジョンにおいて、府立大学附属高校化の検討が謳われている。食品科学科を有する須知高校の府立大学附属高校化を推進すべきでは。

町長 既存の府立高校

を附属高校とする方向性は、注目に値し強い関心をもっている。府立大学では学部再編が検討され、新たに農学食科学部が設置の方向である。府内唯一の食品科学科が設置されている高校として、強い期待感をもっている。

教育長 府教育委員会との連携を密にし、両者の恒久的な連携強化を求めている。



京都府立須知高等学校(豊田地内)



農業者などへの 補助金の補助率は



伊藤 康二 議員

課長 生産振興を図る事業に2分の1から10分の3以内で設定

問 経営主体ごとに、補助率に差異を設けている理由は。

課長 実施される事業趣旨にもとづき補助率を設定している。町独自の補助事業は、受益個数などを勘案し、設定している。

問 補助率の差異により、どのような実態・現状であるか把握できているか。

課長 状況に応じた施策の見直しや、ニーズに応じた対応が必要と感じている。

問 農業を志す方にとって、補助率の差異による障壁や課題は。

町長 経営基盤が確立されていない方が多く、新規就農を目指す方には、補助事業を設けている。可能な限り制度を充実させたい。

問 小規模農家が低い価格設定を余儀なくされることは、補助率の差異が影響しているのでは。

町長 直売所における価格設定は、補助率の差が影響しているとは考えていない。

問 黒豆の枝豆は本町の特産品であり、経営主体にとらわれず生産者が相互に連携できる体制整備が必要である。生産協議会を設立しては。

町長 現時点では考えていないが、熟度が増して機運が醸成された段階において検討する。

耕作放棄地の対策を

問 持ち主不明の耕作放棄地が増加傾向にあるが対策状況は。

課長 農業経営基盤強化促進法の見直しで、若干、粗放的に管理することが可能となった。今後、地域と話し合いながら進めていく。

子育て支援ハンドブックの見直しを

問 子育て支援ハンドブックの改訂状況は。

また、これまで改訂を行ってきた理由は。

課長 制度拡充の反映や、機構改革に伴う課名変更、事業担当課の変更により、計3回改訂している。

問 ハンドブックにあるQRコードからのアクセスができなくなっている。点検を行い、更新が必要では。

課長 見直しの際に欠落していた。今後、十分に注意する。

問 施策ごとにQRコードを添付しては。

課長 SNSを活用し、利便性を図りたい。

外国人による土地活用に問題は

問 外国人による土地取得・賃貸後の活用方法によっては、環境破壊につながるらないか。

町長 保健所などの関係機関とも連携し、不正に開発などが行われないように指導を行う。



子育て支援センター(上豊田地内)



松村 英樹 議員

土砂崩れ検知装置の設置を

町長 先進事例の実態を調査したい

問 近年、地球温暖化が原因とされる異常気象に伴う集中豪雨などにより、全国各地で土砂災害が多発している。防災対策として、局地的な大雨や台風、地震などによる土砂崩れから命を守る必要がある。本町においても、局地的豪雨や台風の影響により、各地で甚大な被害が発生した。災害時にのり面や斜面などの傾きや変位を感知することで、光や音による警音を発信し、付近の住民の素早い避難を促す「土砂崩れ検知装置」を設置する考えは、**町長** 先進事例の実態を調査したい。

問 全世帯に「非常持ち出し袋」の配布を。**課長** 配布予定はない。

町道の除雪対応は

問 12月から3月まで冬季の生活道路の安全な通行を確保するため、どのように除雪作業を



除雪車(瑞穂支所)

課長 昨年度は11業者と委託契約を締結し、午前4時に町内6地点の観測所で、概ね10cm以上の降雪がある場合に除雪している。

問 手配した除雪作業が確実に対応できているか、施工確認するなどの実態調査はされているのか。

課長 降雪が多い日は職員が巡回確認をし、委託業者には、除雪作

業をした日ごとに、写真と作業日報の提出により確認している。

道の駅にポイントカードの導入を

問 道の駅の利便性向上とリピーターづくりにつながるため、町内4カ所の道の駅で共通して使用できるポイントカードを導入しては。

町長 道の駅連絡協議会と連携し、経費負担や運営方法を研究する。

問 マイナンバーカードの普及促進と、関心を高めるために、同カードの取得者にプレミアム商品券を配布する考えは。

町長 商品券の配布は考えていない。

マイナンバーカードの取得者にプレミアム商品券の配布を

課長 道の駅連絡協議会の中で議論し、取り組みたい。

道の駅の男性用トイレにサニタリーボックスの設置を

問 前立腺がんや膀胱がんなどの治療や加齢に伴い、尿漏れパッドを使用する男性が増加している。外出する際に使用済みのパッドを捨てる場所がなく、困るとの声を聞く。道の駅の男性用トイレにサニタリーボックスを設置する考えは。



出産・子育て応援交付金 事業の考えは



森田 幸子 議員

課長 これまでの支援に加えてより充実して実施する

問 出産・育児の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信を行うなど、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の考えは。

課長 妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の支援を充実する。
問 妊娠・出産時に計10万円相当を給付する経済的支援の内容は。
課長 妊娠届出時に5

万円、出産後に5万円の現金による支給を予定している。

こども園での
オムツ処理の実施を

問 こども園におけるオムツ処理の実施にかかる検討状況は。
町長 来年度予算に必要となる経費を計上し、実施する予定である。
問 オムツ処理用のダストボックスの対応は。
課長 臭いの拡散を防

止する室内用のダストボックスを、屋外には蓋つきダストボックスの設置を検討している。

AEDの収納ボックス
内に三角巾の配備を

問 女性の傷病者にAEDの使用をためらうケースがある。三角巾で胸部を覆い、プライバシーに配慮しつつ、迅速な救命活動につなげるためにも収納ボックス内に三角巾の配備を。
町長 消防署などの専門機関に指導助言を受け、慎重に研究する。

9価HPVワクチン接
種の積極的勧奨を

問 9価HPVワクチンの効果と安全性は。
課長 子宮頸がんはウイルス感染が原因の疾患であり、原因となるのは15種類のウイルスといわれている。現在

使用している2価ワクチンは2種類のウイルスに、4価ワクチンは

4種類に効果があり、9価ワクチンは9種類に効果がある。副反応の症状は、ほぼ同様である。

問 9価HPVワクチンの定期接種に伴う本町の周知方法は。
課長 定期接種化となれば、定期接種およびキャッチアップ対象者に対し、個別通知による案内、周知を行う。

須知川水辺公園の
適正な管理を

問 水辺公園の小川を管理するための経費を予算計上し、きれいな小川に戻すべきでは。
部長 小川は府の河川管理区域であるが、除草作業は町が行っている。上流の取水口の改善など、小川内の環境改善が必要であり、今後、府と適切に管理できるよう調整する。

町長 現状を確認し、府とも協議する。



オムツ袋



山田 均 議員

まちづくりとして 子育て支援が急務では

町長 他の自治体に引けを取らない施策を行っている

問 町長は公約で「子育て環境、府内トップクラスを目指す」としている。学校給食費無償化、国保税の子ども均等割（1人1万3200円）の減免、子どもの医療費の完全無償化、こども園の給食費や2歳児までの保育料無償化などの負担軽減を実施すべきでは。

町長 決して他の自治体に引けを取らない施策を行っている。

次長 学校給食費の無償化は考えていない。

課長 国保税の子ども均等割減免は、国の制度により措置すべき事項と考える。医療費は現行の制度で負担軽減できており、無償化は考えていない。

課長 2歳児までのこども園利用料と給食費の徴収は、国の制度に準じて実施している。

問 無償化とした場合の負担額は。

次長 学校給食費は、



本庁舎駐車場と列柱廊の段差(一部)

約3327万円である。

課長 高校生までを対象として、国保税の子ども均等割を全廃した場合約438万円、医療費無償化で約146万円となる。

課長 こども園利用料は約1500万円、給食費が約500万円である。

問 ふるさと応援寄附金の活用で、支援が実施できるのでは。

町長 総合的な観点の

なかで、子育て支援を考えていく必要がある。

駐車場と庁舎出入口の段差は

問 バリアフリー化が必要な公共施設の箇所数、改修計画は。

部長 対応する項目が多岐にわたるため、未対応施設の数を示すことはできないが、改修を進めていきたい。

問 庁舎駐車場から庁舎内に入る玄関口の段

差の改修をすべきでは。

課長 歩道部と車道部の境界を明確にして、車両が歩道部に進入しないように低めの段差を設けている。段差は安全に配慮して設計、施工されており、現時点では改良の必要はないと考えている。

飼料の高騰対策として緊急的な支援を

問 畜産農家は飼料代の支払いに苦慮している。状況を把握し、緊急的に支援すべきでは。

課長 畜産農家には、前年と比較しての申請で理解いただいている。

後継者不足対策は急務

問 後継者不足で、集落の維持すら危ぶまれる危機的状況にある。農業公社で3年間研修して、地域に就農するなど対策が必要では。

町長 今後、検討することが大事であると思っている。



健康保険証の廃止はマイナンバーカードの取得を強制するものでは



東 まさ子 議員

町長 手元にカードがない方々の保険診療手続きは今後検討が進められる

問 国は健康保険証の機能をマイナンバーカードに一体化し、保険証を廃止すると発表しました。このことは、任意であるカード取得を事実上強制するものでは。
町長 カードは国民の申請で交付される。義務化については不明であるが、手元にカードがない方々が保険診療を受ける際の手続きは、今後検討が進められる。
問 国民監視の強化や、個人情報漏えいにつながるマイナンバーカードのひも付けをやめるよう求めるべきでは。
町長 日本のデジタル化は進んでいないという認識のもと、国は躍起になって進めている。私もそれを理解しており、求める考えはない。

問 令和3年5月に成立したデジタル関連法で、企業の営利活動のために自治体を持つ膨大な個人情報を企業に提供することが可能になった。プライバシーの侵害、住民サービスの後退の恐れはないか。
課長 本町では情報提供の募集を行う予定はない。提供する場合は、国の基準にもとづき個人を識別することができないものにして提供するため、プライバシーの侵害にはならない。
問 補正予算で社会福祉施設などへの物価高騰対策支援事業が実施された。来年度も必要額を支援すべきでは。
部長 当初予算への計上は予定していない。
問 クラスターの抑制のため、PCR検査の拡充や検査キットを無料配布すべきでは。また、施設入所者の入院体制の強化が必要では。
課長 高齢者・障害者施設、介護事業所には抗原検査キットが配布されている。町として検査キットを配布する



道の駅「味夢の里」

計画はない。府内の入院対応は入院医療コントロールセンターで一元管理され、療養先が選定されている。
インボイスの影響は
問 インボイスの登録をしていない事業者は、上下水道事業の公共入札の影響を受けないか。
課長 消費税の課税事業者と免税事業者を区別する規定はないため、インボイス制度の導入

による入札への影響はない。
問 道の駅直売所の対応は。
課長 道の駅連絡協議会では、商工会などを入れて協議されている。
減免制度の継続を
問 ケーブルテレビの利用料の減免制度を継続すべきでは。
部長 民間に移行しており、町が措置することとは不可能である。

閉会中の委員会報告

総務産建常任委員会

11月28日に開催。
昨年6月定例会において、本委員会に付託され継続審査となっていた「町道認定に関する請願書」について、引き続き協議を行った。

●請願書の趣旨

本請願書の趣旨は、一般通行車両の多い農道を町道認定すること、道路交通法の適用による規制を講じることが可能となり、周辺住民や道路利用者の安全が図られるといったものであった。

●要望書に対する町の回答内容

本件について、これまで現地踏査や請願者の蒲生自治会長との協議を行うなど、調査を重ねてきた。教育委員

会を含め、町と議会とが連携しながら献身的に取り組みを進めてきた状況において、町へ提出されていた要望書に対しても、交通安全対策を善処する旨の回答がされた。

●請願書の取り下げ

町への要望書の回答を受け、11月25日に蒲生自治会長から請願書の取り下げの申し出があり、本委員会において了承された。

農道の維持管理はもとより、通学路との交差箇所について、カーブミラーの設置などの安全対策が講じられることとなったことが、取り下げの大きな要因となった。

なお、本件については12月2日の本会議において、取り下げが許可された。

教育福祉常任委員会

10月25日に開催。

一般社団法人あゆみ会（南丹市美山町）への管外視察を行い、「グループホーム一歩」の運営について、施設長から説明を受けた。

グループホームは、障害のある方が地域で生活していくための施設であり、利用者は自分の部屋を所有して一緒に生活している。食事は一緒にとっているが、できるだけ制

約を受けず、自宅で生活しているのと同じように過ごし、日中はグループホームから作業所などに通所されている。

●グループホーム一歩の運営状況

【定員などの概要】

・定員は4人以上10人以下。

・設備は定員分の居室（面積基準あり）、居間、食堂、風呂、トイレ、洗面所、台所などが必要。

・職員は、世話人、生活支援員、サービス管理責任者、管理者（施設長）が必要。

【勤務体制と運営費】

世話人は3時間単位

でシフトを組み、朝食の提供（6時半～9時半）、夕食の提供（15時半～18時半）、入浴の対応（18時～21時）を行っているが、職員の確保が課題となっている。夜間は宿直職員のみとなるため、介助や介護は行っていない。

運営は利用者からの食料費、家賃、光熱水費、日用品費に対する利用料および国からの自立支援給付費収入、南丹市からの補足給付費による。

利用料は、利用者の生活が成り立つ範囲に設定し、障害年金2級程度の負担としている。南丹市の補足給付もあり、本人の手元に衣服代やおやつ代などのお金が残るような設定となっている。



グループホーム一歩(南丹市美山町)



管外視察研修(グループホーム一歩内)

交通網対策等 特別委員会

9月定例会で設置された本委員会を次のとおり開催した。

●調査事務内容の確認

10月5日に開催。
本委員会において調査・研究する内容について、協議・確認を行った。当面は、次の5



点の事項を中心に取り組みを進める。

① J R バス（園福線）

減便問題

② J R 山陰本線、園部駅以北の複線化、現行ダイヤの維持に関すること

③ 須知高校生の通学手段に関すること

④ 高齢者の運転免許証自主返納後の支援策

⑤ 下山駅以北の I C カードシステムの導入

● J R バス（園福線）減便にかかる聴取

10月14日に開催。

西日本ジェイアール

バス（株）の取締役企画部長、京丹波営業所長ほか2人に出席いただき、園福線のダイヤ改正後の減便にかかる実状と、経営状況および利用者数の現状について詳細な説明を受けた。

これを受け、須知高校生の通学手段を調査するため、後日、正副委員

長が同校を訪

問し、校長と副校長から、

生徒と教員のバス利用の状況を伺った。

現在のバス

利用者は25人

で、登校時は

J R 園部駅を

7時59分発の便を利用する生徒が一番多いとのことであ

4月以降は減便となったが、現状において無理は言えないとの話であった。

● 前回の内容を協議

11月11日に開催。

J R バス（園福線）

の減便にかかる説明を受けた主な感想などは、次のとおりであった。

減便となり、運行していた時と比べ、不便になったと感じている人がどの程度いるのかを把握しておくべき。

便数維持の要望を行うだけでなく、バス利用を増やす対策を

考える必要がある。

・ 自家用車に近い利便性を公共交通にも求めていくべき。

・ バスは必要であるが、

利用していない現状を改善することが重要。利用しようという機運を高める必要

がある。

第2回臨時会

10月27日、第2回臨時会が開催され、一般

会計補正予算および水道事業会計補正予算を

可決しました。

一般会計補正予算

新型コロナウイルス

オミクロン株対応ワク

チンの追加接種経費をはじめ、長引く物価高騰への支援を重点的に

進めていくための経費として、2億4974

万8千円を追加するもの。

〔全員賛成〕
問 飼料高騰対策の対象畜産農家は、

課長 農家所得の申請がある畜産農家22戸を見込んでいます。

問 今回の補正予算で、学校給食費賄材料費高騰に対応する期間は、

課長 前回の補正予算では1学期を対象としており、今回は9月から3月末までである。

問 福祉支援事業で、

対象としていない事業所の種別は、

課長 訪問系事業所の燃料費の高騰は、府からの支援があるため、対象外とした。

価格高騰緊急支援に 1億7487万1000円



牧場前に並ぶ飼料(下山上新田地内)

議会報告会を昨年度同様に 町自主放送番組の放映で実施



議会報告会収録風景(情報センター)

議会基本条例の施行（令和元年6月制定）を受けて、昨年度に続き、議会報告会を実施しました。

この報告会は、議会基本条例第5条の規定にもとづき開催するもので、議会運営にとつて極めて重要な取り組みの一つです。町民のみなさんのご意見を広く聴くことで、議会との情報共有を図ることができず。

本来であれば、各地域に出向いて実施すべ

きところでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるため、昨年度同様、町自主放送番組の放映により、昨年11月26日から12月2日まで実施しました。

なお、今回は「町議会の仕組みと委員会活動について」をテーマとして放映しました。みなさんのご意見などを参考に、今後も開かれた議会を実現していきます。

第49回

追跡調査

議会だより第69号(令和3年2月発行)掲載の質疑から

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

あれから どないなっとるんや〜?

問 瑞穂支所を瑞穂保健福祉センターに移転しては。

町長

令和4年度中を目途に移転したい。

こうなった!

3月27日から執務開始が決定した。

バリアフリー施設であり、町民のみなさんに安心・安全に利用いただくことができます。



新しい受付カウンター



四季折々の景観と「地元食材」で 真心こめた料理をおもてなし



井尻区 今津 タカさん(母)
亀田 久美さん(娘)

今回は、井尻区の国道沿いで8年前から「CAFEE&LUNCH」(カフェ&ランチ)のお店を営業されている「MINI ONE」(ミニワン)さんを紹介します。

「この場所(井尻区)にお店を構えられたきっかけは。」

以前からお互いの自宅の間(高)



「MINI ONE」(ミニワン) 経営の今津さん親子

槻市・福知山市)で場所を探してました。2人でドライブ中、左方向を見たときに、何もない状態でログハウスだけがあり「こいいね!」と思い、この場所に決めました。

「MINI ONE」(ミニワン)の名前の由来は。

最初、2人ともミニクーパーのミニワンに乗っていたことから、お店の名前にしました。

「2人ともミニクーパーに乗っておられる理由は。」

イギリスの車が好きだったこと、過去に大きな事故に遭い、安心・安全な車を探していたことが理由です。

「お店の内容は。」

◆「わんちゃんスペース」

ご家族みなさんでくつろいでいただく部屋として、店の一番奥に用意

しています。(わんちゃんの食事は持ち込みです)

◆「水曜プレート、木曜特別ランチ、金曜特別ランチ」

レギュラーのランチとは全く別の食事で、季節、食材にこだわったシエフの真心こめた創作料理です。

◆「お弁当、オードブル、コース料理」を用意

道の駅「瑞穂の里 さらびき」において、毎週土・日曜日、祝日にお弁当を販売しています。お弁当以外は、3日前に予約が必要です。

「今後の目標は。」

個人の店ですが、イベントを増やして地元へ貢献し、店舗型ふるさと納税についても取り組んでいきたいと考えています。

「京丹波町の良さは。」

食材のおいしさや四季折々の景観の美しさ、親切で温かい人とのつながりがあることに良さを感じます。私たちを7年間温かく見守っていた、地元企業からも受け入れていただいていることに感謝しています。

(記者 畠中)

議会の傍聴に お越しください

別室においても傍聴できます。

次回の議会日程は次のとおりです。

3月定例会

3月2日(木)から
3月22日(水)まで

編集後記

昨年2月24日のロシアによるウクライナ軍事侵攻開始から、1年が経過しようとしています。私たちは早く軍事侵攻が終結し、平和な暮らしが両国に返ることを心から望んでいます。

また、軍事侵攻後の燃料や肥料価格の高騰に対し、国の物価高騰対策支援が数多く実施され、町独自の対策も盛り込まれました。

さて、令和4年度も終わろうとしています。本町には物価高騰対策やコロナウイルス感染症による景気の低迷、JRB問題など、解決しなければならぬ課題が山積しています。課題に対して真摯に取り組むとともに、委員全員でわかりやすい議会だよりの編集にも努めてまいります。

(伊藤)